



YMCA学院日本語科 上級クラス／ベトナム出身
NGUYEN THI XUAN (シュアン) さん

働きながら独学で難関試験に合格

日本語能力試験をご存じでしょうか。この試験は年に2回実施され(今年7月の第1回は中止)、読解力と聞き取り力についてN5からN1の5段階で合格が判定されます。難易度はN1が最も高く、一般的に専門学校への進学や大学の学部研究生になるために必要と言われているのがN2です。例えば、合格の目安となる「読む力」は「新聞や雑誌の記事・解説、平易な評論など、論旨が明快な文章を読んで文章の内容を理解することができる」とされています(日本語能力試験公式サイト)。このN2、「非漢字圏」出身の留学生にとっては難関です。

技能実習生として働きながら、しかも独学でN2を取得した留学生が今、YMCA学院日本語科で学んでいます。ベトナム出身のシュアンさんです。技能実習生としてキノコを生産する工場で2015年から2018年まで働きました。20代前半だったシュアンさんは当時をこう振り返ります。「日本語を勉強しながら貯金もできると技能実習生の道を選びました。けれども、はじめの数カ月間は重いものを運んだりする肉体労働に心身ともに疲れ果て、何度も挫折しそうになりました。私を支えてくれたのは同じベトナムから来た実習生たち。宿舎で毎晩励まし合って乗り越えました。日本語は仕事と夜の独学で身に付けました。日本語が大好きだったから」。

外国人と生きる 多文化共生のヒント

YMCAを選んでよかった

シュアンさんは実習を終え、ベトナムに帰国。働いた貯金で次は留学生として再び日本に渡ることを決めました。大切な貯金を留学費用に充てることに迷いはなかったといいます。「自分の道は自分で決めなさい」と両親も応援してくれたそうです。昨年秋、YMCA学院日本語科に入学。初めて日本の地を踏んでから4年、技能実習生を経て日本語留学という夢を自らの行動と努力でつかみ取りました。

YMCAの職員はシュアンさんについてこう語ります。「努力家です。つましやか。入学してで日本語が十分に話せない留学生が困っていると手を差し伸べてくれる思いやりのある人」。シュアンさんは「留学先としてYMCAを選んだことは間違っていなかった」ときっぱり。「先生方は真剣に私たちの将来のことを一緒に考えてくれます。授業は厳しい。でもそれは試験のため、進学のためというより、私たち外国人が日本社会で生きていくための指導だと感じます。新型コロナウイルスの影響でたくさんの友人たちがアルバイトの仕事を失った時、学校から一人5kgのお米が配られました。あの時は本当にうれしかった。ああ、YMCAでよかったな、と」。



「ご近所は家族」のベトナム

近年、日本ではベトナム人居住者が増えています。多くは技能実習生です。熊本にもベトナム人のコミュニティができつつあります。シュアンさんは、外国人にとって難しい行政手続きや新型コロナウイルスに関する公的な情報をベトナム語で共有するなど、コミュニティ内の助け合いの一翼を担っています。「ベトナムには敬虔な仏教徒が多い。知らない者同士でもすぐに打ち解けて、助け合う文化があります。同じアパートに住んでいれば、その住民全員が互いに助け合う家族のような関係になるまでそう時間はかかりません。日本ではアパートの隣に住んでいる人にもあいさつをしないことがありますね。ベトナムとはずいぶん違います」。一般の留学生とは違う苦労や経験をしたシュアンさんの話からは、日本社会の課題が透けて見えます。外国籍の人々や外国にルーツを持つ人々との共存のあり方は、長年にわたって議論されてきたテーマです。日本や熊本の社会は、改善の方向に進んでいるのか、改めて問われています。

これからの夢は何ですか、との質問に、「ずっと日本に住みたい。そのためには勉強です。日本語学校を卒業したら進学します。そして、もっといろんな可能性に目を向けていきたいです」と語るシュアンさんの瞳は輝いていました。

Pickup

ありがとうの
気持ちを込めて
ぶどうの木幼稚園
花の日



留学生が
阿蘇でボランティア
YMCA学院日本語科

クラス再開
消毒ボランティアが活躍
ながみね
ファミリーセンター





永田 尚徳さん
永田 利徳さん
みなみセンター
体操・水泳教室

- ① 学校にもYMCAにも行けないので、お友だちと遊びたいと思いました。学校の宿題の縄跳びを頑張ったので、上手に跳べるようになりました。(尚徳さん)
- ② アゲハ蝶の幼虫からアゲハ蝶になるまでを観察しました。蝶になって飛んでいった時は、うれしかったです。(尚徳さん)
- ③ 思いっきりトランポリンでジャンプして、7段の開脚とびが跳べて気持ちよかったです。(尚徳さん)
- ④ 次のワッペンテストでワッペンが取れるように、苦手な鉄棒の練習を頑張りたいです。(尚徳さん)
カモシカワッペンが取れるようにトランポリンととび箱を頑張ります。(利徳さん)



狭山 秀征さん
むさしセンター
アフタースクール・
水泳教室・こどもえいご

- ① 学校の休校中にオンラインで授業があって、お友だちと久しぶりに話ができ楽しかった。これからもオンライン授業でもいいなと思いました。
- ② 家にいる時間がたくさんあったので、折り紙で、ポケモンやモンスターボールをたくさん作りました。段ボール工作もたくさん作りました。
- ③ 久しぶりのプールでは泳ぎ方を忘れているのかな、と心配でしたが、上手に泳げました。
- ④ 今は12mくらいしか泳げないけど、20m泳げるように頑張りたいです。



松川 幸市朗さん
桃田運動公園
トレーニングジム
利用者

- ① 自宅で自重トレーニングを継続していたが、体重の増加と筋肉の衰えを実感した。
- ② プロ野球も開幕が延期となる中で、過去の試合の動画を観たり、筋トレの動画を観ることで、スポーツや身体を動かすことの意義を確認する期間となった。
- ③ 消毒や人数制限に配慮しており、安心してトレーニングができて、ありがたく感じている。
- ④ 一緒にトレーニングする方や、スタッフの方とのコミュニケーションを大切にしながら、楽しく続けていきたい。



中山 真実さん
中山 琉誠さん
水前寺幼稚園
保護者・園児

- ① 家族とともに過ごす時間が増えて、子どもたちの成長をしっかり感じる事ができました。(真実さん)
パパがいつもお家にいたので、たくさん遊べてうれしかった。(琉誠さん)
- ② やりたいこと、行きたい所マップを作りました。落ち着いたら一つずつかなえていこうね!と家族で話しています。(真実さん)
- ③ まだまだ心配もありますが、息子からの「楽しかった～」の言葉と笑顔にホッとしたことを覚えています。(真実さん)
- ④ 体操を始めたので、とび箱をたくさん跳べるように休まず参加します。(琉誠さん)



紫垣 美咲さん
野外活動クラブ
みなみセンター
体操・水泳教室

- ① ついつい夜更かしをしました。ZOOMで授業がありました。もっとパソコンを使えるようになりたいです。
- ② 家でゲームをしていました!!友だちの家で、プールで遊びました。とても楽しかったです。
- ③ やっとYMCAでプールや体操、野外活動ができて、楽しかったです。友だちと会えたことが一番うれしかったです。
- ④ 体操で、できない種目をできるだけ頑張る!!お友だちをたくさんつくて、たくさんキャンプを楽しむ!!



後藤 心乃さん
後藤 理月さん
ながみね
ファミリーセンター
水泳教室・こどもえいご・
そろばん教室

- ① オンライン授業やテレビを通した通信教育など、今までやったことがなかったことを経験しました。
- ② テレビで見たブラレー回転寿司に挑戦してみました。速くてなかなか取れなかったり、脱線してお寿司がひっくり返ってしまったりもしましたが、予想以上に楽しかったです。
- ③ はじめは少し緊張しましたが、徐々に思いっきり泳いで、心も身体もリフレッシュできました。
- ④ 今年は学校のプールの授業がなくなってしまったので、運動不足解消・体力づくりのために、水泳を頑張りたいです。そして、正しく美しいフォームで泳ぐことを目標にレベルアップしたいです。



甲斐 悠樹さん
サッカーチームU-12
ながみね
ファミリーセンター
水泳教室



田中 高大さん
野外活動クラブ
リーダー

- ① 人との距離(ソーシャルディスタンス)を意識するようになりました。
- ② 暇だったので、学校のレポートを1年分終わらせました。
- ③ 久しぶりの参加に不安もありましたが、いざ子どもの前に立ってみると、とっても楽しかったです。
- ④ 進学・就職した時など、どんな場合でも役立つと思うので、YMCAのボランティア活動に参加し、もっと経験を積んでいきたいです。

新型コロナウイルス感染症による外出自粛を経て

YMCAでがんばりたいこと

5月18日(月)より、熊本YMCAのクラスが順次再開。YMCAに連なる皆さんに、自粛期間中の様子や再開後の気持ちを尋ねました。

- ① 新型コロナウイルスの感染拡大による生活の変化や自分自身の変化
- ② 外出自粛中に楽しんだこと、心に残ったことは?
- ③ 久しぶりにYMCAに来て、どうですか?
- ④ これからYMCAでがんばりたいことは?



佐藤 秀司さん
みなみセンター
成人ウエルネス
体操教室・
水泳教室保護者

- ① 在宅勤務が基本となり、勤務中は原則外出禁止だったのでストレスを感じました。今まで当たり前と思っていたことが変わることもあるという勉強になりました。
- ② 子どもたちが遊んでいたプレイボードという乗り物に挑戦して、子どもと競争しました。何度かかけてケガしましたが…。
- ③ 顔なじみの会員の方たちと再会して「久しぶり!」「元気だったね?」とお声をかけていただいたのがうれしかったです。
- ④ 長年の目標「ベンチプレス100kg達成」をYMCAで成し遂げたいです。いろんな会員の方にアドバイスをいただきながら、トレーニングに力を入れていきます。子どもたちはそれぞれのクラスでランクアップしていった自信をつけさせたいです。



近藤 真由さん
YMCA学院
医療事務情報管理科

- ① 医療機関実習が1週間中止になりました。いつもより体調の変化に敏感になったと思います。
- ② 映画やドラマを見たり、料理をしたり、普段できないことを満喫しました。アルバイトや散歩がよい息抜きになりました。
- ③ オンライン授業が続いていましたが、学校では検定に向けてみんなで教え合ったり、質問がしやすかったり、やっぱり対面授業がいいなと思います。
- ④ コロナが終息したら、ボランティアに参加したり、延期になった検定の取得をしたりしたいです。今年で卒業する友だちもいるので、いろいろな所で遊んで、思い出をつくりたいです。



及川 理恵さん
中央センター
こどもえいご

- ① 学校に行くことがなくなり、睡眠時間が増えました。
- ② 走ったり、ヨガをしたりして、運動不足の解消をしました。日に日に上達して、うれしかったです。
- ③ 長い間、英語を話していなかったのが不安でした。でも、とても楽しくて、もっとしゃべりたいと思いました。
- ④ しっかりとコミュニケーションをとれるようになって、たくさんの人と英語でしゃべりたいです。そのために、コソコソと単語や文法を覚えて上達したいです。



柴田 あさかさん
永草保育園
保護者

- ① 家が接客業なので、感染しないように神経を使いました。小学生のお兄ちゃんの休みと同時に、弟も保育園を休ませ、職場や家にいました。
- ② 子どもたちは最初ゲームにはまり、自由だと感じていたようです。次第に似たような毎日が退屈で外に出なくなり、「嫌々ちゃん」になりました。オモチャの片付けも投げやりになり、私が怒る回数が増えました。
- ③ 6月1日から再び登園することに。久しぶりなので心配しましたが、元気に手を振って喜んで行きます。ありがたいことです。
- ④ この先も子どもたちに色々なことが起きると思いますが、強い身体で、時間を大切に使えるように、園や学校でたくさん学んでほしいです。



樋口 蒼空さん
みなみセンター
体操・水泳教室・
こどもえいご

- ① お休みがいっぱいになったけれど、全然外に出れなかった。公園くらいしか行けなかった。
- ② 焼きそばやお好み焼きを作ったりした。みなみセンターで体操のプライベートレッスンに参加して、新しい技ができるようになったのがうれしかった!
- ③ 水泳は久しぶりでちょっと足が痛くなっちゃったけど、楽しかった。英語も体操も楽しかった!
- ④ ワッペンを多くとる。体操は今はおレンジ。イエロー目指して頑張る。英検も受りたいから、英語も頑張る。



若松 愛梨さん
ながみね
ファミリーセンター
水泳教室

- ① 保育園も休みになり、水泳も休みだったので、運動不足でストレスがたまっていたようです。(保護者)
- ② お絵描きやぬり絵を楽しんでいました。祖父の家に行くことが増えて、祖父母孝行ができたと思います。(保護者)
- ③ 久しぶりに泳げて楽しかったようです。(保護者)
- ④ お兄ちゃんを目指して、水泳クラブに入れるように頑張ります。



島田 真奈美さん
中央センター
英会話

- ① 丁寧な生活を送る機会になった。食事に関して、今までは食べられればよいと思って用意していたが、栄養や色どりなども気にするようになった。
- ② 使っていなかったミシンを使い、キレイな布や生地で作りを楽しんだ。周りの人からは、育てた野菜や手作りマスクをいただいたりした。人の優しさに気づく機会になった。
- ③ しばらく通っていなかったという距離を感じなかった。講師・スタッフが変わらず迎えてくれて、今までと変わらずレッスンを再開することができた。
- ④ レッスン参加+宿題等もしっかりして、もっと英語を話せるようになりたい。英語を通してもっと人との輪を広げ、日本人はもちろん、外国人でも、悩んでいる人、困っている人を助けられるようになりたい。

新型コロナウイルス感染症 熊本ワイズメンズクラブより寄附金贈呈

熊本YMCA設立直後に熊本初のワイズメンズクラブとして誕生し、70周年を迎えた熊本ワイズメンズクラブから、70万円の支援金の申し出があり、5月23日(土)に、贈呈式が行われました。会長の吉岡久美さんから「困難な状況にある子どもたちの支援に役立ててほしい」と熊本YMCA総主事の岡成也さんに目録が贈呈されました。

熊本YMCAでは、新型コロナウイルスの影響で困難な状況にある子どもたちや家庭の支援を行っています。小学校の休校期間中には、医療関係者や

ひとり親家庭の子どもたちを預かる学童保育を実施しました。また、経済的な理由でYMCAのプログラムに参加が難しくなった家庭への緊急参加費減免制度にも取り組んでいます。今後は、子どもたちの運動不足の解消やストレスケアなどを目的としたキャンプを通して、子どもたちの健やかな成長に寄り添っていきます。今回の寄付金は、このような取り組みを継続させ、子どもたちの明るい未来を創造するために活用します。

職員 山田真二



岡 総主事の タラン トン Vol.70

支え合う仲間

「見えざる敵との戦い」と表現されるウイルス感染拡大の渦中ではありますが、私たちの生活や経済は様々な制約を受けながらも、何とか日常を取り戻しつつあります。今回、私たちの経済や社会の基盤が、情報や交通などの世界

規模のネットワークによって成り立っていることを改めて実感しました。過去の疫病被害は歴史の転換点でたびたび起こり世界を変えてきたと言われます。私たちの生活や行動も大きく変えていかなければなりません。

教皇フランシスコは、「一人ばっちで希望をもち続けることはできません。希望をもち続けるには、支え合う共同体が必要なのです」「日めくり 教皇フランシスコ 人生を導く喜びといつくしみのことば31」より)と言っています。また「共同体に宿る愛こそ、私たちの希望の土台、互いの弱さを受け入れ、支え合うからこそ、私たちは苦しみを乗り越えられるのです。私たち

の間に宿る神の愛こそ、あらゆる困難を乗り越えるための力なのです」とも言っています。

YMCAは176年前、産業革命下で困難の中にあったイギリスの若者たちが志を同じくして、同世代の仲間のために祈り、人格的成長と生活改善を願い行動を起こした共同体です。困難な状況にある方々に寄り添うことこそが、YMCAの運動の原点であることを改めて心に刻みながら、ポジティブネットを通して希望と平安が実現される働きを行っていきます。そのために、ボランティアの皆さんと想いを分かち合い、共に活動の輪を地域に広げてまいります。

t a l a n t o n

2020年度会員大会 オンラインで開催

例年5月に開催している熊本YMCA会員大会。今年は新型コロナウイルス感染症の影響をふまえ、資料を事前にWebで公開し、6月26日(金)に動画を配信するオンラインでの開催となりました。

第1部礼拝では熊本聖書教会牧師の長澤牧人さんが「しない愛」と題して奨励。第2部表彰では、会員在籍50年の川上安生さんに会員永年在籍者感謝状が手渡され、10年目を迎えた「ながみね防災まつり」、新型コロナウイルス感染症に関する支援活動のための寄付を行った熊本ワイズメンズクラブにそれぞれ感謝状が贈られました。第3部定期総会では、事前に寄せられた質疑等をふまえながら、2019年度事業報告および収支決算・監査報告、2020年度事業計画および収支予算、常議員選任の各議案について説明がなされました。



新常議員紹介

10名の方が新常議員に選任され、定期総会で承認されました。
※()内は所属委員会



麻生 尚哉 さん
(みなみ)
お役に立てるよう、精一杯頑張ります。



岩永 福子 さん
(みなみ)
学生の頃からYMCAに関わってウン十年。つながっていることに感謝!がんばります。



長澤 牧人 さん
(熊本五福)
常議員会が神の愛と平和に役立つ器となりますように、微力ながら努力したいと思います。



林田 博文 さん
(中央)
与えられた役割に良き働きができるよう励んでいきます。



本田 節子 さん
(水前寺)
地域の課題を共に見出し、解決していけるように取り組んでいければと思います。



前田 香代子 さん
(グローバル)
微力ながら、できることを、継続してお手伝いしてまいります。よろしく願います。



三上 充 さん
(東部)
熊本YMCAの働きを少しでもサポートできれば幸いです。



森嶋 道 さん
(リソース推進)
私たちは危機の真ただ中にいますが、この危機が私たちを1つにします。神の祝福を。



両角 彰則 さん
(むさし)
学生リーダーを経験し、息子もYMCAに携わる中で、様々な気付き等を提案します。



吉松 裕藏 さん
(ながみね)
10歳からYMCAで育てられて60年。持続可能な団体となるよう務めます。

熊本YMCA会員大会奨励

熊本聖書教会 長澤牧人



テサロニケの信徒への手紙一 5章13節

愛をもって心から尊敬しなさい。互いに平和に過ごしなさい。

しない愛

今年度の熊本YMCAの基本聖句は「愛をもって敬意をもちなさい」と来て、「互いに平和に過ごしなさい」と続きます。では、具体的にどうやって敬意を払うのか? その答えが「しない愛」です。

偉い人の前に出る時、私たちは無礼がないようにしようとし、尊敬心は「しない愛」で表す。皆さん、こう思うかもしれませんが、「消極的だな。愛というのは何かやってあげることでしょう」。ここで、ある研究結果を紹介いたします。夫婦に身体の電流を計るものをつけて会話してもらいます。イラっとした時や笑った時にピーンと反応します。反応を記録して3年後に調査した結果、離婚していた夫婦の記録を見ると、イラっとした回数が多かった。喜んだ回数が多いことではなくイラっとした回数が少ないことの方が効果が高いことがわかりました。大事なのは、小さないたわり合い。これが「しない愛」です。

これは職場の人間関係、お客さんとの関係にも当てはまります。人間の脳は、してもらったことよりも、イラっとしたことの方が4倍記憶に残るという研究結果があります。ということは、誰かを1回不愉快にさせたら、最低4回「してあげる愛」をしなきゃ印象は戻りません。覚えておいてください。比率は1対4。だったら、最初から「しない愛」を心がけた方がいいのです。

周りの人の「しない愛」にも感謝しましょう。ゴミを指定日以外に出さない、交通違反はしない、誹謗中傷はしない。全部「しない愛」。人に「あれをしてくれない」、「これをしてくれない」と不満があるかもしれません。でも「してあげる愛」が少ない人でも、「しない愛」はいっぱいやってくれているかもしれない。人間関係でストレスを感じる時は、①相手に「してあげる愛」を求めすぎるか、②相手の「しない愛」に気づいていないかです。今年度は「しない愛」の1年にしてみませんか? 小さな「しない愛」の積み重ねが社会をより良くしていきます。



熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

2020年度基本聖句

テサロニケの信徒への手紙一 5章13節
愛をもって心から尊敬し 互いに平和に過ごしなさい。